事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	漁業センサス統計調査事業	会計区分	1	一般会計	所管部署	企画振興部		
		予算科目	2 款 5 項 2 目	総務費				
事業番号	777	事業区分	政策的事業【義務】		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R - 年度
評価の種別	□ 詳細評価 ☑	簡易評価（事業の概要・結果のみ）			所属長名	向井	北岡	
総合計画での位置づけ	基本目標	参画協働推進都市の創造						
	基本施策	効率的で透明性の高い行財政運営			担当責任者	木下	木下	
根拠法令等	統計法、漁業センサス規則				事務担当者	鷹見	合田	
関係する計画等								
事業の目的【ゴール】目指すべき姿を簡潔に	対象	全ての漁業事業者						
	意図	漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通、加工等の漁業を取り巻く実態と変化を総合的に把握する。			事業開始年度	□ 平成 ☑ 令和 5 年度 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力		
事業内容【アクティビティ】具体的な内容、どのような方法で実施しているのか	県知事から任命された調査員が、調査対象経営体を訪問し、調査票の記入依頼、回収を行う。 5年に一度実施される統計調査である。				事業終了年度（予定）	令和 6 年度(予定) □ 設定なし		
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 ☑ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他（ ）							

本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性

□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を
□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	☑ ゴール14 海の豊かさを守ろう
□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう
□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に
□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう
□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	

前回評価の振返り

評価年度	事業遂行に係る課題・改善点		課題解決に向けた具体的な方策等		左記に対する対応状況
令和 2 年度		⇒		⇒	
最終判断 現状維持					

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

項目		R 5 実績	R 6 実績	R - 実績	R - 要求
予算	当初予算	697	6		0
	補正予算				
	前年度から繰越				
	予備費等				
	計	697	6	0	0
決算	執行額	469	0		
	翌年度へ繰越				
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	469	0		0
	地方債				
	その他				
	一般財源				
執行率（%）		67.3%	0.0%	-	
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%)		67.3%	-	-	
正規職員の人工数		0.30	0.10		
1人工当たりの人件費単価		7,765	7,895		
※ 執行額＋人件費		2,799	790	0	

事業費の内訳

	節	細節	事業費（千円） R 5 実績	R 6 実績	R - 実績	R - 要求	摘要（※代表的なものを簡潔に）
例年支出のあるもの	報酬	非常勤報酬	309				調査員報酬
	職員手当等		130				時間外手当
	需用費	消耗品費	28				漁業センサス用消耗品
	役務費	通信運搬費	2				郵送代
臨時的なもの							
上記以外の事業費合計							一般事務費、上記で書き表せないもの
事業費の総計			469	0	0	0	

事業活動の実績【アウトプット】

	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R - 実績
活動指標	指標① 漁業経営体数	件	―	92	-	
	指標②					
	指標③					
	指標④					

事業活動の成果【アウトカム】

事業遂行に係る工夫点・事業成果	適正な事務執行に努めた。調査実施は令和５年度であり、令和６年度は調査後の事後処理であるが、令和６年度の事務執行は無かった。
事業遂行に係る課題・改善点	
課題解決に向けた方策等	

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。